

新春対談2021 PART 2 大人への1歩。二十歳の想い。 若いチカラで未来を切り拓く!!



川崎樹輝也
令和3年 武雄市成人式実行委員会
第1部 実行委員長

TATSUYOSHI MATSUO (20)
令和3年 武雄市成人式実行委員会
第1部 副実行委員長
松尾竜義

JYUKIYA KAWASAKI (20)

MASAHIRO YAMAGUCHI (74)
武雄市議会
議長
山口昌宏

武雄市議会について

あけましておめでとうございます。今年の新春対談は、昨年を振り返りつつ今後の社会を担っていく新成人を代表してお二人にお話を伺います。まず最初に、武雄市議会では、市民の皆さんの声を市の施策に反映できるように努めていますが、若い世代の皆さんはどのくらい議会に関心がありますか？

議会中継をケーブルテレビでは何度か見たことはありますが、政治に関心がなくても生活が出来ており、自分事として捉えることがなく関心が薄いのが本音です。

私も関心を持つという思いながら、ケーブルテレビで見かけることはあってもしつかり聞くことはありませんでした。

関わりがないので関心が持てないとのことですが、例えば、昨年発生した豪雨災害。約1500軒が浸水し、相当な被害を受けました。そのような状況の中、いかに早く元の生活に戻していくか。市民の皆さんの生命や財産を守ることも議会の仕事のひとつです。直接関わっていないけどどこかで関わっています。これを機に、実際に傍聴席で生の声

を聴いてみるなど、堅苦しく考えずに、もっと議会や市役所を身近に感じてもらえれば嬉しいです。

2020を振り返って

さて、昨年を振り返ってみると、やはり新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年だったかと思いますが、コロナウイルスの影響により、皆さんの生活に制約がかかったり、経済が冷え込んだりと色んなことがありました。お二人の生活にはどのような影響がありましたか？

通っている大学が4月から休みになり、約4か月間友達とも会わずに自粛生活を送っていました。最初はそうでもなかったのですが、自粛が続くにつれて気持ちも落ち込んでいき、何も手に着かない時期がありました。人と話すことの大切さや、友達と何気ない時間を過ごす大切さを痛感した1年でした。

私は旅行が大好きで、自粛になる前は視野を広げるためにも色んなところへ行っていました。コロナウイルスの影響で趣味を楽しむことができない期間が今も続いています。昨年春から留学する予定でしたが、時期も不透明なまま延期になってしまい辛かったです。

私は、小学校の教師を目指しています。自分よりさらに若い世代が自信をもって社会に飛び込んでいけるように、思いやりを持ち、子どもたち一人ひとりに存在意義を感じさせてあげられる教師になりたいです。

コロナが収束したら留学をしたいと思っています。今後、日本の人口が減っていくなかで、外国と日本をつないでいける会社を経営することが夢です。

自分の夢を語ることが出来る若者が武雄に居ることを心強く思っています。これからたくさんの方を経験していく中で「自分の志をしっかり持つこと」はとても大切です。これからの時代を担う若者として、ますます活躍してくれることを期待しています。頑張ってください！

困難を乗り越える

私からするとお二人はデジタルネイティブの世代。スマートフォンなど様々なツールを使って繋がりを保ちつつ、これまで以上の関係を築いていると思っていたが、アナログな繋がりを大事にしているのが新鮮でした。今後コロナが収束した未来は社会の形が変わってきます。アフターコロナはどのような社会になつていくべきだと思いますか？

最初にインフルエンザが発生したときも大変な状況だったと思いますが、医療が発達してワクチンが出来たように、新しい困難に打ち勝てる世の中であってほしいです。

たしかに、今は見えない、未知のものだからこその怖さがありますが、いつの日かインフルエンザと同じ認識になればいいですね。若い世代のみなさんにはコロナに限らず、新たな困難に直面しても、それを乗り越え、明るい社会を切り開いてほしいと思います。

新幹線開業に向けて

未来といえば、武雄市は2022年秋に新幹線の開業を控えています。新幹線は武雄市にどのような

変化をもたらすと思いますか？

移動が制限されるコロナ禍もあって新幹線の利用者が増えるのか疑問ですが、福岡までの特急が約3倍になると知り、利便性が高まることで来街者が増えると思います。

観光客は増えると思います。武雄市に人が集まるような仕掛けや、同時にインフラ整備も重要な気がしています。

武雄市が通過駅にならないために、魅力ある場所をつくる必要があると思っています。

日本の人口減少が危惧されている中、海外からの観光客を呼び込むインバウンド事業も考えていかなければなりません。武雄市のことだけではなく、佐賀県、九州、日本、世界という規模で考えていく。その中で、武雄市にはこんな魅力があると打ち出せるまちづくりを行っていくべきだと考えます。まちづくりに限ったことではありませんが、夢を描いて実現するように努力することが大切です。最後に、これから社会を担う若者として、夢を聞かせてください。

